

連絡 家族の約束ごとを決めておきましょう!

我が家の避難所*	家族の集合場所	災害時の連絡手段
<p>詳しくは コチラ!</p> 	<p>避難所*に集合でもOK!</p>	<p>①</p> <p>②</p> <p>③</p> <p>④</p>

★箕面市の避難所は、お住まいの小学校区の小学校(北小校区はメイプルホール、萱野北小校区は第二中学校)です。


家族と連絡が取れなくなったら
災害用伝言ダイヤル

体験利用日…防災週間(8月30日午前9時~9月5日午後5時)、毎月1日及び15日、1月1日~3日、防災とボランティア週間(1月15日午前9時~21日午後5時)

伝言の入れ方 **171+1+** 自宅の電話番号 (市外局番から) → 伝言を入れる


伝言の聞き方 **171+2+** 自宅の電話番号 (市外局番から) → 伝言が聞こえる


詳しくは
コチラ!




緊急連絡先	連絡先	電話番号	連絡先	電話番号
	消防	119	病院	
	警察	110		
	ガス会社			
	電力会社			
	水道局			

情報 箕面市では、災害時の緊急情報(避難所解説情報など)をメールやSNSで配信しています!

市民安全メール  登録用QRコード

市民安全LINE  登録用QRコード

市民安全X  登録用QRコード


災害時の緊急情報を繰り返し放送します!

タッキー816 FM81.6MHz

箕面市では、市民に被害が及ぶような重大な災害が発生したときは、災害対策本部を設置し、災害時の緊急情報をタッキー816(FM81.6)で、繰り返し放送します。いざというときのために、持ち運びができるラジオを買っておいてください。スマートフォンなどで、タッキー816を受信できるものがあります。

大阪 大阪府内どこでも使える!
大阪防災アプリ

「大阪防災アプリ」は、災害時の避難所開設状況、災害情報の配信、雨雲レーダー、防災マップ、ブザーやスマホライトなどの役立つ機能を備えた多言語対応アプリです。
ダウンロード用QRコード(iOS・Android共通)▶



災害時専用 箕面市災害対策本部(直通) ☎072・724・5000

聴覚(言語)障害者のかた用FAX FAX072・724・6376

お問い合わせ 箕面市 総務部 市民安全政策室
☎072・724・2121(代表) / 072・724・6750(直通) FAX072・724・6376

明日、起こるかもしれない

大災害

個人編

自分の身は自分で守る!

緊急地震速報! 震度6弱

地震発生時の行動

机の下に隠れる! 脚をしっかりとつかんで強い揺れに備える

揺れがおさまったら 家の中でも靴をはく

出口を確保

黄色いハンカチを玄関先に出す

余震で落ちそうなものを床に下ろす

家にいる家族の無事を確かめる

ブレーカーを落とす

ガスの元栓を閉める

近所で無事を確かめ合う

消火・救助に向かい 必要に応じて119番する

ご近所さんに「うちの家族は大丈夫!」と知らせる目印です!

大雨・台風発生時の行動

防災情報	防災行動の例	私と家族の防災行動
警戒レベル1 早期注意情報 (気象庁)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 気象情報をこまめに確認 ▶ 家族と今後の行動を確認 	
警戒レベル2 大雨・洪水注意報 (気象庁)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 防災マップで避難方法や避難経路を確認 ▶ 非常用持ち出し袋の確認 	
警戒レベル3 高齢者等避難	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 避難に時間を要するかた(高齢者、障害者、乳幼児等)は避難開始 	
警戒レベル4 避難指示	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 安全な場所や避難所へ避難 	
警戒レベル4までに必ず避難!		
警戒レベル5 緊急安全確保	<ul style="list-style-type: none"> ▶ すでに災害が発生している状況 ▶ 命を守るための行動をとる 	

1 3日分の水・食糧を備蓄する



大地震が起こった直後、3日間は外部からの支援が届きません。ガス・電気・水道が止まり、物流が途絶えても持ちこたえられるよう、3日分の水・食糧を備蓄してください。

水 9リットル×家族の人数

ひとり1日3リットルの飲料水が必要です



4人家族なら9リットル×4人

食糧 普段食べているものでOK!

調理しなくても食べられるものをそろえてください

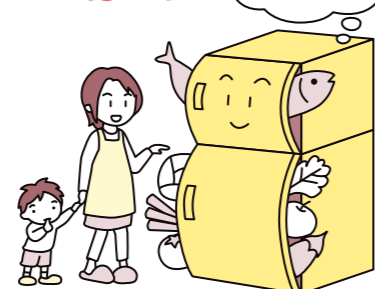
- レトルト食品 (おかゆ・雑炊・シチューなど)
- 缶詰・びん詰め食品



冷蔵庫やパントリーは

「いつも」
いっぱい!

災害時には
頼りになるよ!



普段から、多めに買い置き、古いものから消費して、使ったらまたすぐに買い足しておく。常に「新しい在庫」を家に置いておきましょう。

今日から出来る 家庭の備え

防災力は想像力! いざというとき何が起こり、何が必要か、日頃から考えておきましょう!

2 停電・断水時を想定して 非常用持ち出し袋を準備する

停電・断水時や緊急の避難時に、すぐに使用したり持ち出したりできるよう、備蓄品の一部や無いと困るものをリュックなどにまとめて 玄関周りに置いておきましょう。

停電

- 電灯がつかない…
- テレビが見られない…
- 携帯電話が充電切れ…



断水

- トイレが流せない…
- お風呂に入れない…
- 食器が洗えない…

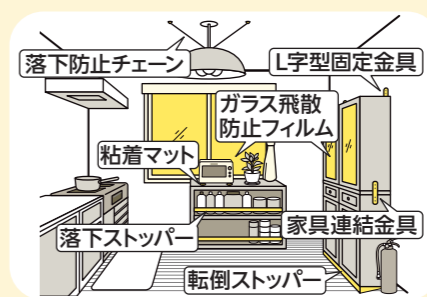


チェックリスト

- | | | | |
|------------------------------------|--------------------------------------|--|--------------------------|
| <input type="checkbox"/> 水を少しと軽い食糧 | <input type="checkbox"/> 現金 | <input type="checkbox"/> 赤ちゃんのミルク | <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> 懐中電灯 | <input type="checkbox"/> 健康保険証(コピー可) | <input type="checkbox"/> 常備薬、お薬手帳 | <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> 乾電池 | <input type="checkbox"/> 身分証明書(コピー可) | <input type="checkbox"/> メガネ・コンタクト用品 | <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> モバイルバッテリー | | <input type="checkbox"/> おむつ(乳幼児・高齢者用) | <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> 携帯充電用ケーブル | | <input type="checkbox"/> 生理用品 | <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ | | <input type="checkbox"/> 母子健康手帳 | <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> 簡易トイレ | | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> ウェットティッシュ | | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> 笛・ホイッスル | | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

3 家具の配置を見直し 倒れないよう固定する

大地震が起こると、棚の食器類や電化製品が落下し、背の高い家具などが倒れます。家にいるとき一番長く居る寝室や、たくさんの食器類や電化製品に囲まれた台所では、家具の配置を見直し、配置換えが難しいものには必ず転倒防止の金具などを取り付けてください。1人で家具の固定をするのが難しい時はシルバー人材センター(☎723・8077)へご連絡ください。



今すぐ耐震チェックを受けてください!

改修設計、改修工事の補助金もあります!

昭和56年5月以前に建てられた木造住宅は、耐震性能が不足し、大規模な地震で倒壊する恐れがあります。昭和56年5月以前に建てられた家にお住まいのかたは、今すぐ、無料の耐震チェックを受けてください。詳しくはホームページ(QRコード)をご覧ください。審査指導室(☎724・6866)へお問い合わせください。



4 風水害に備えて 防災マップを確認する



事前に必ず、防災マップでハザードエリア*を確認し、いざというときの行動として、「避難所に行く」ほうが安全か、「家にいる」ほうが安全かを確認しておいてください。

なお、お手元に防災マップがない場合は、市役所本館1階窓口課、豊川・止々呂美支所でお渡します。また、市内の「防災」「公共施設」「道路」「水道」に関するさまざまな情報を閲覧できる地図情報サイト「みのおマップ」(QRコード)でも、防災マップをご覧いただけます。

*ハザードエリアとは、土砂災害または浸水害が発生する恐れのある区域のことで、府が調査を行い指定するものです。土砂災害はレッドゾーン・ハイリスクエリア・イエローゾーンに、浸水害は危険度1~3に分類されます。

土砂災害

レッドゾーンでは家の構造に関らず避難所に避難!

ハイリスクエリアで平屋建ての場合は避難所に避難!

ハザードエリアの屋外は、最も危険な場所です。

ご自宅がある場所の“色”と、家の構造に応じてとるべき避難行動(「避難所に避難」または「屋内で安全確保」)を確認する

危険度	避難行動	屋内で安全確保(2階以上)	屋内で安全確保(平屋建て)
危険度3	避難所に避難	外出せず、2階以上で、山・ガケ・川から離れた部屋にいてください!	外出せず、山・ガケ・川から離れた部屋にいてください!
危険度2	避難所に行く	外出せず、2階以上で、山・ガケ・川から離れた部屋にいてください!	外出せず、山・ガケ・川から離れた部屋にいてください!
危険度1	避難所に行く	外出せず、2階以上で、山・ガケ・川から離れた部屋にいてください!	外出せず、山・ガケ・川から離れた部屋にいてください!

浸水害

危険度3では家の構造に関らず避難所に避難!

危険度2で平屋建ての場合は避難所に避難!

ハザードエリアの屋外は、最も危険な場所です。

市から「高齢者等避難」が発令されたら…

対象の世帯では 高齢者、障害者及び付き添いのかた、小さな子ども連れのかたなどは、すぐに避難所に避難してください。通常の避難行動ができるかたは、避難の準備をしてください(「避難指示」の発令で避難を開始)。

*「屋内で安全確保」の対象のかたも、「ハザードエリア外」にお住まいのかたも避難所へ避難することができます。一人で家にいると不安などの理由でも、遠慮なく避難所へお越しください。